

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	富澤一明
全体計画						経費区分	—			内線	3519	
事務事業名		4200 林道管理事業										
所 属		200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策		05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	050000 林道管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
林道を維持修繕することにより、森林整備に資する。						森林整備のためには、林道の維持修繕は欠かせない。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
米子不動線草刈り業務委託ほか、林道維持管理工事	米子不動線草刈り業務委託ほか、林道維持管理工事
平成29年度 実績	平成30年度 実績
米子不動線草刈り業務委託ほか、林道維持管理工事 米子橋橋梁点検・補修計画	米子不動線草刈り業務委託ほか、林道維持管理工事
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
米子不動線草刈り業務委託ほか、林道維持管理工事	米子不動線草刈り業務委託ほか、林道維持管理工事

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		39,282	38,624
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	12,503	11,577
	地方債	10,800	10,000
	その他	0	0
一般財源		15,979	17,047
人 員 数 (人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,145.0	2,145.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,145.0	2,145.0
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		41,427.0	40,769.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	76	消耗品26、燃料費50
13節 委託費	3,643	草刈払651、測量設計業務委託2992
15節 工事請負費	35,532	修繕、復旧工事35,532
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	31	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	71	消耗品20、燃料費51
13節 委託費	3,750	草刈払750、測量設計業務委託3,000
15節 工事請負費	34,700	修繕、復旧工事34,700
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	103	土地借上料3、立木補償100

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	市が管理する林道を維持修繕することにより、森林整備の効果がある。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	市が管理する林道を維持修繕することにより、森林整備の効果が図れた。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	地方創生工道整備交付金を活用し事で事業を進める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

森林の多面的機能の維持保全を図るためにも、適切な林道の管理を行った。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

林道の維持管理業務は森林の保全に必要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

林道の維持管理業務は森林の保全に必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント